

令和2年度 学校図書館基本計画

足立区立千寿小学校 校長 信田 恵介

1 学校教育目標

人間尊重の精神に徹し、未来に生きる力を備え、知・徳・体・情操の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指す。

かしこく やさしく がんばる 千寿の子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（昨年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 1,1631冊（蔵書基準冊数1,0960冊）／ 蔵書率 106.1%									
	② 新規購入図書 725冊 / 廃棄図書 0冊 / 増減冊数 725冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2%	1%	8%	7%	15%	5%	3%	8%	4%	47%
*国基準	6%	2%	18%	9%	15%	6%	5%	9%	4%	26%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、週3回程度昼休み（図書館ボランティア・図書支援員配置日）									
	② 児童一人あたりの年間貸出冊数 40.58冊（前々年度：29.71冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 96.9%									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館を利用して本を手にとる機会を増やし、進んで利用しようとする態度が見られる。 ② 学校図書館を利用し、進んで本を読むことができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。	① 各学級で月1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 年間60冊以上の本を読む。 ③ 全学級で学校図書館オリエンテーションを行う。
第2学年	① いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ② きまりを守って学校図書館を利用することができる。 ③ 学校図書館における書架の配置を理解し、自分の読みたい本を探して、読書することができる。	① 各学級で月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間70冊以上の本を読む。 ③ 全学級で学校図書館オリエンテーションを行う。
第3学年	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 詩や俳句、歴史など様々な分野の本に興味をもち、読書することができる。 ② 事典や図鑑等から必要な情報を調べ、わかったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館における書架の配置を深く理解し、必要な資料を探して、読書することができる。	① 各学級で月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間80冊以上の本を読む。 ③ 児童の50%以上が図書館を利用して調べ学習を行うことができる。

第4学年	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても、読書することができる。 ② 事典や図鑑等から必要な情報を調べ、わかったことをまとめて、友達に紹介することができる。 ③ 学校図書館における書架の配置を深く理解し、必要な資料を探して、読書することができる。	① 各学級で月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間3000ページ以上、本を読む。 ③ 児童の60%以上が図書館を利用して調べ学習を行うことができる。
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 必要な資料を複数選び、読書ができる。 ② 学校図書館を適切に使い、複数の本や新聞から調べたことを用いて自分の考えをまとめることができる。	① 各学級で月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間4000ページ以上、本を読む。 ③ 児童の70%以上が図書館を利用して調べ学習を行うことができる。
第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 必要な資料を複数選び、読書ができる。 ② 学校図書館を適切に使い、複数の本や新聞から調べたことを用いて自分の考えをまとめて、友達に報告することができる。	① 各学級で月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間4000ページ以上、本を読む。 ③ 児童の80%以上が図書館を利用して調べ学習を行うことができる。

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ① 歴史分類の本を中心に新規図書の購入を行い、登録作業等を11月までに完了させる。
- ② 廃棄図書の選定を8月中に完了させる。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ① 学校図書館オリエンテーションを低学年を中心に行い、中学年・高学年でもブックトークや授業内でのカンファレンス支援を行う。
- ② 図書館ボランティアと連携し、学校図書館の開館、書架の整備等の環境づくりを行う。
- ③ 各学年の学習内容に即した本を選定し、展示や貸し出しを行う。

【その他】

- ① 図書館ボランティアによるお話会等のイベントを企画し、実施する。